

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
新潟デザイン専門学校	昭和51年4月1日	加藤 一人	〒950-0916 新潟市米山3-1-54 (電話) 025-245-3381				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人新潟総合学院	平成7年3月24日	池田 祥護	〒951-8065 新潟市中央区東掘通1-494-3 (電話) 025-210-8565				
目的	イラストレーション制作の様々な表現方法や技術を習得し、広告デザイン・グラフィックデザイン・似顔絵など様々な分野に関わる専門的な知識・能力を身に付け、その知識に基づく実習を通して実務に関する実践的な技術・技能を身に付けることを目的とする。デザイン・クリエイティブ業界の多くの企業や団体と連携し即戦力となる人材育成を行い、また、多くのデザイナー・クリエイターの育成により業界の発展に寄与することを目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	イラストレーション科	平成14年文部科学省告示第十九号	-			
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2112	168	-	1944	-	-
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
120人	99人	4人	13人	17人			
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日 	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ・評価基準はA・B・C・Dの4種 ・方法:作品評価、書類試験結果 				
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始:4月1日 ■夏季:7月27日～8月25日 ■冬季:12月15日～1月5日 ■学年末:2月24日～3月31日 	卒業・進級条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率80%以上 ・授業課題の提出 ・卒業制作、修了制作の提出 ・学費完納 				
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 ■早期の保護者を交えた対応 ■個別面談、個別作品指導 	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 企業インターンシップ ■サークル活動: 有 				
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界等 デザイン系企業(広告・印刷業界) ■就職率^{※1}: 94% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 82% ■その他 <p>(平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定等	<ul style="list-style-type: none"> ・POP広告クリエイター技能審査試験 ・色彩士検定 ・ビジネス著作権検定 ・コミュニケーション検定 				
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 1名 平成26年4月1日 在学者 123名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 122名 (平成27年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 精神的不安定な状況で引きこもりになり、自宅療養が必要と診断されたため退学。 ■中退防止のための取組 クラス担任による個別面談、早期発見による保護者との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ■中退率 0.8% 					
ホームページ	http://www.ncadnet.jp/occupation-practice/file/illustration.pdf						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものである。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

デザイン業界では、基本的な技術・知識を基に、最新の多様な変化に対応できる知識技術が求められている。そのため、県内及び県外の就職先企業・インターンシップ先等の各企業等と連携し、現在業界の求めている人材像やスキル等の動向を把握・分析し、専門課程の教育を施すにふさわしい授業科目、授業内容の改善工夫などを行うために教育課程編成委員会を設け、教育内容の質の向上に継続的に務める。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名前	所属
高田 哲雄	文教大学 情報学部広報学科 教授
新保 悟	ジャムルクルー株式会社 代表取締役社長
渡辺 淳一郎	株式会社アイディ・東和 取締役営業部長
齋藤 秀一	NPO法人 アジアクラフトリンク
明間 芳規	株式会社アイ・シー・オープロモーション
加藤 一人	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 校長
畑野 裕美	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 教務部長
永井 啓司	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長
吉富 克弥	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長
小林 敏哉	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長
田中 圭	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長
齋藤 佳彦	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 事務局長

(開催日時)

第1回 平成27年6月19日 16:30～18:30

第2回 平成27年9月24日 16:30～18:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実際の制作現場で、どのようにして顧客のニーズにあった作品を生み出せるかを学ぶ為、企業・業界から似顔絵師を派遣し、基礎から応用、実践を通して学ぶ。制作の技術だけでなく対話の中から要望を聞きだすコミュニケーション力もつける事を目的とする。

科目名	科目概要	連携企業等
似顔絵	似せる技術、紙面の構成、仕事を意識した時間管理など、基礎から実践までのやり方を学ぶ。	株式会社アイ・シー・オープロモーション ジャムルクルー株式会社
表現演習Ⅱ	仕事を意識したイラスト制作を行う。クライアントからの依頼を様々な表現方法で制作する。	株式会社アイ・シー・オープロモーション

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

専門的かつ実践的な知識・技術を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身に付けなければならない。そのために下記の通り教員研究環境を整える。

- ・教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・スキル研修
- ・県などの公共事業によるセミナー等への参加。
- ・一般社団法人 全国専門学校経営研究会主催の各種教員研修への参加。
- ・学内に設置される付帯教育講座を利用しての自己啓発。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
丸山 悦代	学校法人 大彦学園 開志学園高等学校 教諭
関本 大輔	株式会社アドハウス・パブリック 代表取締役社長
高橋 徹	ツムジグラフィカ 代表
加藤 一人	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 校長
畑野 裕美	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 教務部長
齋藤 佳彦	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 事務局長

(学校関係者評価結果の公表方法)

当校ホームページ(URL:<http://www.ncadnet.jp/>)にて公表する。

5. 情報提供

(情報提供の方法)

書類又は、当校ホームページ(URL:<http://www.ncadnet.jp/>)にて提供する。

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程イラストレーション科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			リアルイラストI	モノや動物など、様々なカテゴリーで素材の質感や遠近を描写する。商業デザインやアートシーンに向けて基礎から学習。	1・後	48				○	○		○		
○			美術史	美術に関係する、時代毎に活動した作家の技法やその時代背景、文化や生活様式を学び今後の作品制作に活かす。	1・後	24		○			○		○		
○			表現演習	イラストにおける様々な表現方法を、様々な素材・画材を使用して学ぶ。	1・通	48				○	○		○		
○			デッサンI	モノの素材・質感・空間・奥行を捉える。鉛筆やクロッキー、絵の具を使用して表現する。	1・通	96				○	○			○	
○			色彩構成	色彩が人に与える影響や、色彩心理・配色方法など、デザイン制作に欠かせない色についての知識を学ぶ。	1・通	48				○	○		○		
○			イラストレーション史	日本だけでなく、海外も含めたイラストの歴史を、活躍した時代背景や技法とともに学習する。	1・前	24				○	○		○		
○			イラストレーションI	カットイラストや挿絵など、仕事として依頼される様々なケースを想定した作品制作をする。	1・前	48				○	○		○		
○			印刷概論	デザイン制作における仕事の流れ。各セクション業務の把握。制作の仕方から印刷・仕上げまでを学習する。	1・後	24		○			○		○		
○			ベーシックデザイン	イラストを描く上で必要な様々な画材を基礎から応用まで学ぶ。その際使用する紙質との相性や発色の仕方も学ぶ。	1・通	96				○	○		○		
○			デジタルベーシックI	PCの使い方からIllustrator・Photoshopの使い方を基礎から応用まで学ぶ。その他スキャナー等の周辺機器の使い方学ぶ。	1・通	96				○	○		○		
○			似顔絵	似せる技術、紙面の構成、仕事を意識した時間管理など、基礎から実践までのやり方を学ぶ。	1・前	48				○	○			○	○

○		キャラクターデザイン	擬人化から始まり、頭身の理解、マスコットキャラクターの作り方を学ぶ。立体を想定した3面図の作成もする。	1・通	24					○	○				○
○		コミュニケーション学	人と人との直接的な交流、コミュニケーションの基本を学ぶ。就職活動や作品売込み活動における自己紹介や作品の説明などに活かしていく。	1・後	24		○				○				○
○		修了制作	1年間学んだ技術・知識・表現方法の集大成となる作品をテーマ・コンセプト作りから制作する。	1・後	240						○	○			○
○		コミックイラスト	主に人物画を中心に、キャラクターの世界観まで考えたコミック的イラストを制作する。(手の描き方・足の書き方・顔の方向の描き分け・表情の描き分けなど)	1・通	48						○	○			○
○		POP検定	POP制作の基礎となる線の描き方や、レイアウトの仕方、挿絵の入れ方などを学ぶ。POP検定の資格取得を目指す。	1・前	24						○	○			○
○		就職実務Ⅰ	就職の為の基礎知識を学ぶ。履歴書の書き方・求人票の読み方などを学習しながら、職情報やガイダンス情報など、確認しつつ自分の就職活動の計画をたてる。	1・後	24		○				○				○
○		制作実習	ポートフォリオ用(持込・就職)や、コンテスト応募用の作品制作を行う。自分の目的に合わせて制作活動を進めていく。	1・通	72						○	○			○
○		就職実務Ⅱ	就職・進路に向けてのより実践的な物事を学ぶ。実際の求人紹介や、活動のポイント。様々なケースでの対処方法を学ぶ。	2・前	12		○				○				○
○		社会研究	社会人として必要な知識はもちろんの事、マナー等も含め学ぶ。	2・前	24		○				○				○
○		ドローイング	様々なテーマに基づいて制作する。想像力を広げ、制作の幅を広げると共に、意図に応じたイラストレーションの制作を実習により学ぶ。	2・後	48						○	○			○
○		スケッチ	基礎能力として、描写力を身につける。鉛筆・木炭・絵の具を用いるデッサンと、鉛筆によるクロッキーとを両方行い、描写力を高める。	2・前	48						○	○			○
○		イラストレーションⅡ	イラスト制作の為の様々な技法を学ぶ。ペーパークラフトや、網掛け技法、スポンジを用いた制作など、イラスト制作の為の幅を広げていく。	2・通	48						○	○			○
○		表現演習Ⅱ	仕事を意識したイラスト制作を行う。クライアントからの依頼を様々な表現方法で制作する。	2・通	72						○	○			○
○		エディトリアルデザイン	テーマ別カットイラスト制作、雑誌ページダミーの制作、詩や小説の挿絵制作を経て、本の装丁の仕事の流れを理解する。	2・前	24						○	○			○

○		ビジネス著作権	デザイン制作分野において重要となる、著作権に関して、条文や症例を通して学ぶ。ビジネス著作権検定対策授業。	2・前	24		○			○									
○		コンペ実習	様々なデザインコンペを通して、制作の幅を広げると共に、仕事を想定した提案方法を考え。賞の受賞を目指す。	2・前	48					○	○			○					
○		制作実習	それぞれ成長したい分野や技法、コンテスト応募などに挑戦し、新たな表現方法の開拓や、技術の振り返りを行う。	2・通	72					○	○			○					
○		リアルイラストⅡ	1年次の基礎に加え、様々なモチーフを描画していく。仕事の依頼に応えられるクオリティを目指す。	2・前	48					○	○							○	
○		デジタルイラスト	Macを使用してキャラクター制作や、印刷物の版下データ制作を学び、就職を目的としたDTPデザイン（名刺・DM・チラシ・ポスター）を行う。	2・通	96					○	○			○					
○		創作絵本	ストーリー構築の基礎、絵本キャラクター制作、ページ編集方法等を学ぶ。最終的に一冊のオリジナル絵本を仕上げ、絵本作家公募展に出品・受賞を目指す。	2・通	96					○								○	
○		コミックイラスト	実際の原稿用紙を用いて漫画表現を学ぶ。ストーリーや設定、キャラクターデザイン、背景のパス等総合的に学ぶ。	2・通	96					○	○								○
○		似顔絵Ⅱ	1年次の基礎に加え、人物だけでなく、背景や文字入れバランスなど、より完成度の高い作品制作を学ぶ。	2・通	48					○									○
○		イラストワーク	平面から立体まで、様々なイラストレーション分野の仕事を意識した作品制作を学ぶ。	2・通	48					○									○
○		卒業制作	2年間学んだ集大成としての作品制作をする。様々なイラスト表現を通して、伝えたい事をしっかりとまとめ、制作する。	2・後	240					○	○			○					
○		異文化研究	異文化に接することで視野を広げ、その中から創作的意欲を深める。事前に現地の文化・風習・生活について考察し、より効果的に現地研修を実施する。	2・後	12		○				○								○
○		立体イラスト	立体でのイラスト制作を学習。粘土を用いて、半立体イラスト～立体イラスト（設計図も含む）まで仕上げる。	2・通	96						○	○							○
合計			37科目			2112単位時間(単位)													

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2期
1 学期の授業期間	18週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。